

早出しスイートコーンの低温障害を軽減するためのトンネル管理技術

【特徴】

厳冬期から早春期に作付けする早出しスイートコーンは降霜などの低温障害を受けやすい。そこで低温障害を軽減するための栽培管理技術を確立した。

【活用が見込まれる分野】

県内スイートコーン栽培農家

【効果】

分けつの発生数が増加し、低温障害を軽減できる

【内容】

技術1. ハウス栽培

播種から約3週間後、本葉が5枚になったらトンネルを全開



分けつが増加



雌穂重が確保でき、先端不稔も少ない。

技術2. 一重トンネル栽培

播種から約3週間後、本葉が5枚になったらトンネルを4m間隔の千鳥開放



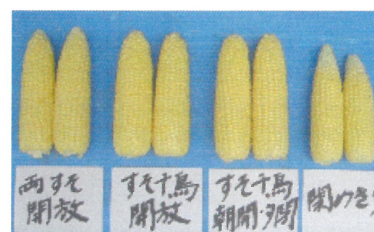
開閉管理と同等の分けつ確保



雌穂重が確保でき、先端不稔も少ない。



分けつが
増加



先端不稔が
少なく、充実
した穂を確保